



審議された主な議案

平成27年 6月草津市議会定例会を6月9日から6月30日まで開き、条例案等の議案16件が市長から提出されました。なお、議員からは条例案1件、規則案1件と意見書案4件が提出され、請願1件が紹介提出されました。



※採決結果は本会議の結果をP3、4に掲載しています。
議長は表決を行いません。

【議第55号】 草津市個人情報保護条例の一部改正

行政手続法における個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」）が制定され、すべての国民に「個人番号（マイナンバー）」が付番されることとなります。この番号法では、「個人番号（マイナンバー）」について、より厳格な保護措置を講ずることとされており、番号法の趣旨を踏まえた特定個人情報等の取扱いについて定めるため、草津市個人情報保護条例の一部を改正するものです。



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

審査における質疑応答／意見《総務常任委員会》

議員 税や社会保障の情報が「個人番号（マイナンバー）」に集約されることになるが、情報管理の体制について問う。

市 草津市では従来から「[情報セキュリティポリシー①](#)」を定め、それに基づきセキュリティ対策を行っている。マイナンバーの取り扱いについては、国の第三者機関「特定個人情報保護委員会」の定めに従い、より厳格に保護・評価し、情報漏えい等のリスクへの対策を行う。

議員 住民情報にアクセスできる端末はインターネットにつながっているのか。

市 住民情報を取り扱うシステムはインターネットにはつながっていない。

議員 行政として制度の安全性を市民にどのようにアピールするのか。

市 番号法をきっかけに個人情報の取扱いについては、より厳格な保護措置を講ずることになるので、個人情報保護条例が強化されたということ伝えていく。

議員 マイナンバーの利点については理解できるが、個人情報の漏えいが相次いで起こっているため、市民の不安を解消するためにも情報セキュリティの対策と、その説明はしっかりと行ってほしい。

【予算執行の留保を解除しました】 《予算審査特別委員会》

去る3月、平成27年度当初予算の審査において、クリーンセンター更新整備事業にかかる地元への生活環境等対策費の交付金については、その交付の手続きなどについて整理されるまで、予算の執行を留保する付帯決議を可決しました。

このことについて、6月26日の予算審査特別委員会で、執行機関が地元との協議により整理された内容の説明を受けました。

今回の更新整備にかかる交付金については、新たに交付要綱を作成し、市と地元が覚書を締結することで、一括交付金の対象事業と、その限度額の内金として支出することを明確化されたものです。

委員会では、説明にあった対応に基づき予算を執行することについて認めました。